

# 福島第一原子力発電所の状況(主なトピックス)

2014年6月12日  
日本原子力産業協会

## 1. 海洋モニタリング

港湾内の海水中放射性物質濃度は至近1ヶ月で有意な変動はなく、沖合いでの測定結果については、引き続き有意な変動は見られていない。

## 2. 汚染水対策

地下水は、福島第一原子力発電所敷地内を山側から海側に流れており、毎日約400トンが建屋に流入している。「地下水バイパス」や「トレンチの止水」など、地下水の流入量を減少させる対策が着実に進むとともに、地下水を建屋に近づけない対策として「凍土遮水壁」の設置が進められている。

<遮水壁>

### 【陸側(凍土方式)】

○6月2日より、凍土遮水壁設置工事に着手。

○計画では、総延長約1,500mの凍土遮水壁ライン(下記図参照)に約1m間隔で約1,550本の凍結管を地中約30mまで打ち込み、-30℃程度の冷媒を凍結管に巡らせて、凍土を造成する。

○今後、凍結管の設置を進め、2014年度中の凍結開始を予定しており、2015年上期の運用開始を目指している。

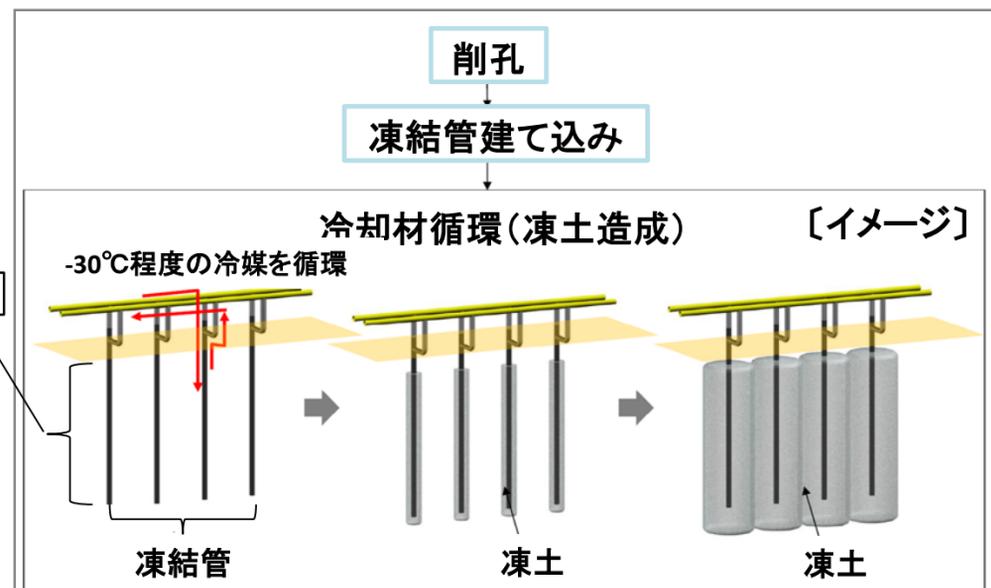
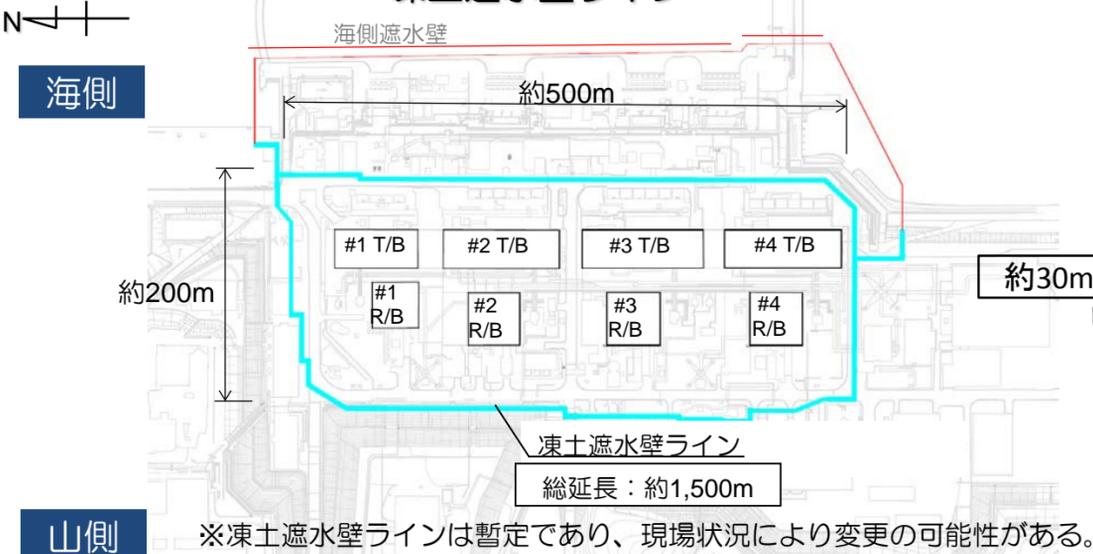
○規制委員会は、本工事の着工を認めたものの、審査は並行して進められている状況。

### 【海側】

○万が一、建屋外に漏えいした場合も海洋への流出を防止するために、建屋の海側に鋼管矢板による遮水壁の設置を進めている。

○2014年9月に工事完了予定。

### 凍土遮水壁ライン



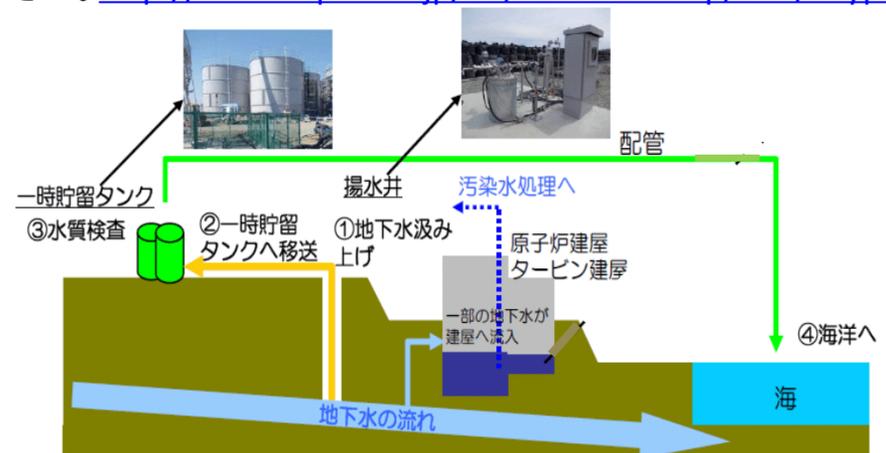
## <地下水バイパス>

原子炉建屋より山側に設置した井戸からくみ上げた地下水を一旦タンクに貯留し(①②)、東京電力および第3者機関にて放射能濃度分析を実施し(③)、地下水の放射能濃度が運用目標を下回っていることを確認した上で、海洋へ放出(④)することで、建屋に流入する地下水を1日当たり数十トン程度減少させる取り組み。(下右図参照)

※地下水バイパスの取り組みについては、こちらよりご覧ください。<http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/info/bypass-j.html>

### 【放出実績(2014年6月8日現在)】

放出日	放出量	累計放出量
5月21日	561トン	—
5月27日	641トン	1,202トン
6月2日	833トン	2,035トン
6月8日	1,563トン	3,598トン



## 3. 4号機使用済燃料プールからの燃料搬出

### 【移送実績(2014年6月9日時点(約67%))】

1034/1533体(使用済燃料:1012/1331体、新燃料:22/202体)

※カスクの輸送回数:47回

[出典]東京電力:<http://www.tepco.co.jp/>